

「令和6年度多治見市資金運用実績」の公表について（報告）

1 結論

会計管理者は、毎年度の歳計現金、歳入歳出外現金及び基金積立金の保管と運用を行っており、「多治見市資金管理運用方針」に基づき令和6年度の運用実績を公表するもの。

2 歳計現金・歳計外現金の管理・運用実績

会計管理者が管理する現金は、日々の支払いに充てる「歳計現金」と市県民税や職員の所得税、保険料などを一時的に預かっている「歳計外現金」がある。

通常は決済性預金で保管をしているが、すぐに支払いを行わない「歳計現金」については1年未満の定期預金で運用。

表1 令和6年度歳計現金及び歳計外現金の保管状況（月末残高）

月	現金残高	決済性預金	定期預金
4月	5,351,767千円	5,351,767千円	0
5月	9,865,811千円	9,865,811千円	0
6月	8,404,234千円	4,904,234千円	3,500,000千円
7月	7,005,202千円	3,505,202千円	3,500,000千円
8月	6,279,056千円	2,779,056千円	3,500,000千円
9月	5,945,829千円	5,445,829千円	500,000千円
10月	3,325,268千円	2,825,268千円	500,000千円
11月	4,539,414千円	4,039,414千円	500,000千円
12月	4,090,611千円	4,090,611千円	0
1月	2,916,337千円	2,916,337千円	0
2月	3,424,718千円	3,424,718千円	0
3月	4,690,936千円	4,690,936千円	0

※決済性預金は、全額保全される代わりに利子が付かない預金（基金も同様）

表2 歳計現金の運用実績（年間利子額）

年度	年間利子額	決済性預金	定期預金
R4	503千円	—	503千円
R5	503千円	—	503千円
R6	642千円	—	642千円

3 基金の管理運用実績

本市では、現在35の基金を設置。基金の現金は決済性預金で保管を行い、当面基金を取り崩す予定のない部分については、定期預金及び債券で運用。令和6年度に多治見市資金管理運用方針を変更し、債券運用における金融商品の選択について、これまでの国債・地方債・政府保証債に、一般担保が付与された財投機関債等及び電力債を追加。

表3 基金の保管状況（年度末残高）

年度	基金全体	決済性預金	定期預金	債券
R4	25,863,721千円	6,150,375千円	15,906,721千円	3,806,625千円
R5	26,807,931千円	4,918,504千円	17,682,190千円	4,207,237千円
R6	27,270,892千円	6,793,174千円	15,788,190千円	4,689,528千円

表4 基金の運用実績（年間利子・利金額）

年度	基金全体	決済性預金	定期預金	債券
R4	40,291千円	—	15,673千円	24,618千円
R5	38,689千円	—	13,089千円	25,600千円
R6	43,298千円	—	15,123千円	28,175千円

4 まとめ

（1）歳計現金及び歳計外現金

- ①引き続き基金の繰替運用を活用しながら定期預金の預入金額の確保に努めてきている。
- ②金利引き上げ等、運用益の確保には好ましい状況を迎えつつあり、預入先金融機関の金利改定に伴い有利な金利にて解約。年間利子額は対前年度から13万9千円の増加。引き続き効率的な運用に努める。

（2）基金

- ①基金全体の残高は、前年度から約4.6億円の増加。
- ②定期預金での運用は原則、1年間の定期としている。令和5年度預入時の前後では金利動向に大きな動きはなかったが、比較的大規模な基金について新規に定期預金・債券で運用する等により、年間利子・利金額は、前年度から460万9千円の増加。

- （3）定期預金での運用はもとより、債券の効率的な運用も含め、資金管理運用方針にのっとり、今後も確実かつ有利な資金運用に向けた検討と実践に努める。